

氏名

点数

点/100点

## 各論演習 21-1

問1)

当社はケーキを主力製品とするスイーツ生産・販売の運営会社である。国内で10の支店を持っているが、なかでも金沢市の小坂店の成長が今年の4月よりめざましく、新しくタピオカドリンクも商品に加えるか否かを検討中である。

タピオカドリンクの製造・販売に要する月間の原価予測

| 製造・販売量  |       | 500杯     | 750杯     |
|---------|-------|----------|----------|
| 材料費     | ミルク   | 10,000円  | 14,800円  |
|         | 紅茶の茶葉 | 7,500円   | 11,250円  |
|         | 上白糖   | 1,500円   | 2,250円   |
|         | タピオカ粉 | 19,000円  | 28,500円  |
| 燃料費     |       | 1,000円   | 1,300円   |
| 料理人給料   |       | 19,950円  | 19,950円  |
| 設備減価償却費 |       | 90,000円  | 90,000円  |
| 修繕・維持費  |       | 12,506円  | 12,906円  |
| 雑費      |       | 1,000円   | 1,000円   |
| 合計      |       | 162,456円 | 181,956円 |

- 【問】 タピオカドリンク製造・販売に要する月間の原価予測データにおける合計額を利用して、高低点法における原価分解を行って、月間の原価予想総額（Y）を $Y = aX + b$ の形で答えなさい。ただし、 $a =$  変動費率、 $b =$  月間の固定費、 $X =$  タピオカドリンクの製造・販売数とする。

解1)

月間の原価予想総額 =

円/杯×タピオカドリンク製造・販売量 +

円



氏名

点数

点/100点

## 各論演習 21-2

問1)

当社の小坂工場の直接作業時間 (X) と補助材料費 (Y) の実績記録は、下記のとおりである。これらはすべて正常なデータである。

| 月  | 直接作業時間 (X) | 補助材料費 (Y) |
|----|------------|-----------|
| 4月 | 5,000時間    | 2,080千円   |
| 5月 | 4,000時間    | 1,800千円   |
| 6月 | 3,000時間    | 1,600千円   |
| 7月 | 5,000時間    | 1,840千円   |
| 8月 | 6,000時間    | 2,360千円   |
| 9月 | 7,000時間    | 2,320千円   |

【問】 補助材料費の原価線は、 $Y = aX + b$  で表されるものとして、上記のデータにもとづき、最小自乗法によって  $a$  (変動費率) と  $b$  (固定費) を求めなさい。

解1)

a =  円/時b =  円



氏名

点数

点/100点

## 各論演習 21-3

問1)

スイーツショップ小坂店における新商品であるタピオカドリンクについて、下記の資料にもとづき、各設問に答えなさい。

(資料)

|           |          |
|-----------|----------|
| 当月販売数量    | 700杯     |
| 単位あたり販売価格 | 390円     |
| 単位あたり変動費  | 78円      |
| 月間固定費     | 123,456円 |

【設問1】

当月の予想営業利益を求めなさい。

【設問2】

月間の損益分岐点における売上高を求めなさい。また、月間何杯以上売れば、営業損益がプラスとなるか。

【設問3】

当月の安全（余裕）率を求めなさい。（小数第2位を四捨五入すること。）

【設問4】

当月の経営レバレッジ係数を求めなさい。（小数第2位を四捨五入すること。）

【設問5】

来月に売上高が20%増加したときの予想営業利益増加額を、設問4で答えた経営レバレッジ係数を用いて計算しなさい。（小数第1位を四捨五入すること。）

解1)

【設問1】

予想営業利益  円

【設問2】

売上高  円

販売数量  杯

【設問3】

安全（余裕）率  %

【設問4】

経営レバレッジ係数

【設問5】

予想営業利益増加額  円